

Ⅲ 2020（令和2）年度活動計画について

1. 方針

- (1) 修学旅行の**教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化**を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- (2) 連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- (3) 関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行を目指す。

- (1) 全体目標 「感性をはぐくむ修学旅行」
- (2) 研究発表会主題 「学びの集大成を図る修学旅行」

3. 活動の内容

(1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月23日(火)	13:30～ 15:30	全日中会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月6日(火)		東京文化会館
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	10月30日(金)		J R 東日本東京支社
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月16日(火)		東京文化会館
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月24日(火)		奈良まほろば館
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月23日(火)	11:00～ 12:30	全日中会館
	第2回	データの分析・考察	10月6日(火)		東京文化会館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	10月30日(金)		J R 東日本東京支社
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月24日(火)		奈良まほろば館
	第56回研究発表会	実践研究発表等	11月20日(金)	13:30～ 16:30	
全修協	第37回全国修学旅行研究大会 (全修協報告・実践事例発表、講演)		中止	13:30～ 16:30	
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		2021年 1月21日(木)	14:00～ 16:00	熱海

①会議出席

役員代表者会(各県2名、定数11名) → 役員、各県委員長(部長)、研究委員長
 総会・研究協議会(各県4名、定数20名) → 役員、運営委員、研究委員
 研究委員会(各県2名、定数10名) → 研究委員、運営委員1名
 その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
会長選出県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県
運営委員長	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県
//副委員長	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県	群馬県
研究委員長 研究発表県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県	栃木県

(2) 連合体計画輸送

① 2020（令和2）年度計画輸送の実施

2020（令和2）年度修学旅行専用列車の申込み状況

（単位：校、人）

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	35	4,548	92	12,550	23	1,757	206	32,278	131	20,279	487	71,412	4
B	75	8,430	13	566	4	103	35	3,728	27	2,838	154	15,665	-2
C	0	0	0	0	0	0	47	8,169	38	6,849	85	15,018	-5
D広島	1	139	0	0	2	136	1	105	3	456	7	836	-1
秋季C	2	254	0	0	0	0	22	4,476	0	0	24	4,730	5
合計	113	13,371	105	13,116	29	1,996	311	48,756	199	30,422	757	107,661	1
北海道	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	3	365	3	365	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	5	762	5	762	1
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸	0	0	0	0	0	0	1	96	10	1,389	11	1,485	1
合計	0	0	0	0	0	0	1	96	18	2,516	19	2,612	2
総合計	113	13,371	105	13,116	29	1,996	312	48,852	217	32,938	776	110,273	3
対前年	-2	-1,097	0	-314	3	172	-4	-1,832	+6	-234	+3	-3,305	
利用率	53.6	58.9	68.2	78.5	18.1	12.2	75.4	84.6	57.6	69.2	59.0	68.4	

② コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D・広島	東北	長野	北陸
5/8～7/9 63日間 71,412名 1日平均1,134名	5/28～6/12 16日間 15,665名 1日平均980名	春 5/8～6/25 49日間 15,018名 1日平均307名 秋 期間調整中 全24校 4,730名	5/13～6/24 7日間 全7校 836名	5/13～5/27 3日間 全3校 365名	5/13～6/16 5日間 全5校 762名	5/13～6/10 9日間 全11校 1,485名

③ 県別・コース別の設定期間(出発日基準)、人数、日数

コース	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
-----	-----	-----	-----	-----	-----

A	5/8～5/22 4,548名 15日間	5/8～6/17 12,550名 32日間 ※設定外有り	6/12～5/29 1,757名 12日間	5/26～7/9 32,278名 45日間	5/8～6/24 20,279名 45日間 ※設定外有り
B	5/28～6/12 8,430名 16日間	5/30～6/12 566名 5日間	5/28～5/29 103名 2日間	6/1～6/12 3,728名 9日間 ※設定外有り	5/28～6/4 2,838名 8日間
C			—	5/29～6/25 8,169名 25日間 ※設定外有り	5/8～6/19 6,849名 21日間 ※設定外有り
D広島	139名		136名	105名	456名
秋C	254名	—	—	4,476名	—
東北	—	—	—	—	365名
長野					762名
北陸	—	—	—	96名	1,389名

④2020（令和2）年度 関東地区公立中学校連合修学旅行出発式 → 中止

参考：昨年のお出発式について

ア 東海道新幹線出発式

a 日時 2019（令和元）年5月8日（水）午前7時25分～7時35分

b 7時47分東京発「のぞみ号」乗車校 千葉県8校
 千葉市立稲浜中学校（73人） 野田市立関宿中学校（17人）
 千葉市立土気南中学校（155人） 四街道市立四街道北中学校（166人）
 市川市立南行徳中学校（236人） 佐倉市立臼井西中学校（122人）
 柏市立柏第四中学校（143人） 市原市立ちはら台西中学校（108人）
 うち参加校8校（1,020人）

※関修委を代表して千葉成田市立公津の杜中学校の小川校長先生にご参加いただき、ご挨拶頂きました。

イ 北陸新幹線出発式

a 日時 2019（令和元）年5月14日（火）午前8時00分～午前8時20分

b 8時44分 東京発「はくたか号」乗車校 千葉県1校
 千葉市立大宮中学校（61人）

※関修委を代表して千葉成田市立公津の杜中学校の小川校長先生にご参加いただき、ご挨拶頂きました。



⑤計画輸送の利用校拡大

今年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレット等をもとに各学

校への啓発に努める。

⑥2022（令和4）年度修学旅行の計画輸送策定についてのお願い

- ア Aコース希望で、東京近郊の学校は、Cコースの選択もお願いする。Cコースの帰り（東京着）の時間が2014（平成26）年度から30分早くなっている。
- イ 各県へBコースの利用のお願い。また、Bコースをより魅力あるものにするため、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけている。
- ウ 2019（令和元）年度から新たに北海道・北陸新幹線に定期混乗設定が実現。引き続き、東北（山形・秋田）・上越方面の新幹線利用の拡大を図る。
- エ 利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。
- オ 引き続き広島便のPRに努める。また、広島便の利便性を向上させるための改善を働きかけていく。
- カ 申込書への記入—乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。申込人数を正確に記入（現1年生の在籍数）
- キ 東京都、神奈川県中学校長会の専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JRへ働きかけていく。

⑦2022（令和4）年度修学旅行列車の輸送計画の策定

2020年	6月	23日	総会・研究協議会	2022年度輸送計画の大綱決定
		中旬		輸送申込書等配付（各県）
	7月	20日	各県申込締切	2022年度輸送申込締切（各県）
	8月	7日		申込集計の事務局送付
	9月			事務局にて割付原案の作成
	10月	6日	第2回研究協議会	2022年度輸送計画原案提案
		中旬		割付原案による確認、調整（各県）
	10月	30日	第3回研究協議会	2022年度輸送計画の決定
	11月	26日		2022年度輸送計画発表（ホームページ上）
2021年	2月	5日	JRへの申込締切	各学校、JR輸送申込書を旅行社経由で提出

⑧その他

（3）調査研究活動

①調査研究の継続と充実

修学旅行の基本調査及びその年度のテーマに沿った調査研究と発表。

②第56回修学旅行研究発表会の開催について

- ア 日時 2020（令和2）年11月20日（金） 13時30分～16時30分
- イ 会場 エテルナ高崎（JR高崎駅から徒歩5分）
群馬県高崎市
- ウ 内容 関修委活動報告、実践研究発表他

※ コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえて、実施、延期、中止、その他の方法について

③現地研修会の実施

修学旅行の充実のために先生方の現地研修を実施する。

- ア 北陸三県修学旅行現地研修会— 中止
北陸三県の歴史と文化、伝統、産業、自然科学の体験学習と宿泊施設等の見学。
- イ 東北修学旅行現地研修会—2020年8月7日（金）～8月9日（日） 秋田・岩手方面
東北の歴史と文化、自然、体験学習、震災学習、世界遺産等の見学・体験。宿泊施設等の見学。

④修学旅行資料「関西の旅」について

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進等をお願いして参りましたが、今回のコロナウイルス感染症拡大等の影響で、残念ながら、編集・発行・販売等の

業務を継続することが困難となりました。尚、在庫の書籍につきましては購入等が可能ですのでお問い合わせを頂ければと思います。

(4) 陳情・要請活動

① 財務省・文部科学省への2021（令和3）年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

行事	学校種別		2020年度 決定額	2021年度 要望額	2019年度 決定額
修学旅行	中学校		60,910	65,000	60,300
	小学校		21,890	25,000	21,670
校外学習	中学校	宿泊を伴う場合	6,100	7,000	6,100
		宿泊を伴わない場合	2,270	5,000	2,270
	小学校	宿泊を伴う場合	3,620	7,000	3,620
		宿泊を伴わない場合	1,570	5,000	1,570

② JRへの計画輸送に関する改善要望

- ア 東京駅までの継走列車の乗り入れと継走特急列車の割引。
- イ 各駅の団体客の集合待機場所の確保。
- ウ Bコースの出発時間の繰上げ（30分程度）と東京帰着時間の繰下げ（30分程度）、それに伴う継走列車の運行。
- エ Dコース（広島）の設定時間や乗車定員増、京都帰着時間の選択制の導入。

③ その他

(5) 他団体との連携

① 公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

第37回全国修学旅行研究大会

2020（令和2）年7月21日（火） 學士会館 中止

② 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加

2021（令和3）年1月21日（木）頃 関東地区予定

③ 首都圏3地区校長会修学旅行委員会連絡会

第1回 2020（令和2）年7月14日（火） 全日中会館

第2回 2021（令和3）年1月29日（金） 全日中会館

(6) その他

- ① 情報・資料の提供・発信として各研究協議会・発表会等で修学旅行等の最新の資料を提供する。
- ② 関修委・全修協のホームページの活用とホームページコンクールの周知。コンクール応募校の増加を図る。
- ③ 各県事務局とのEメール及びWebページ活用推進による事務等の効率化とデータ収集の向上を目指す。

4. 予算

(1) 2020（令和2）年度支出予算案

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	580,000	580,000	0	会場費、設営費、資料作成費、 反省会費
旅費交通費	事務局交通費	137,200	138,100	△900	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議案内、資料送付等郵便・宅急 便料金
印刷製本費	印刷費	300,000	300,000	0	輸送計画関係書類、調査研究関係 印刷物
助 成 費	各県活動運営費	782,800	781,900	900	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,500,000	2,500,000	0	

(2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数×300円)

※研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

※連合体参加校数は2019(令和元)年度第4回研究協議会開催日時点(2020年度計画校)の校数。

県 名	定 額 (A)	連合体校数	利用校金額 (B)	研究発表県 調査研究費 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	113	33,900		133,900
栃木県	100,000	105	31,500		131,500
群馬県	100,000	29	8,700	50,000	158,700
埼玉県	100,000	312	93,600	—	193,600
千葉県	100,000	217	65,100	—	165,100
	500,000	776	232,800	50,000	782,800

5. その他

IV その他

各県からの連絡等は、関修委のE-mailが便利です。是非、積極的にご利用ください。

関修委専用 E-mail アドレス

`kanshui39@ac.auone-net.jp`

